

平成31年3月1日

## 平成30年度 第2回 学校関係者評価委員会

校法人国際ビジネス学院金沢  
専門学校金沢美専美容学科  
学校関係者評価委員会

学校法人国際ビジネス学院金沢 専門学校金沢美専ビューティー総合学科における平成30年度の自己点検評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施いたしましたので、以下の通り報告いたします。

開催日時：平成31年2月28日（木） 16:30～17:00

開催場所：専門学校金沢美専 3階応接室

出席者：＜学校関係者評価委員＞

石川エステティック協同組合 理事長 田中 成臣

株式会社フロンティア 代表取締役 川上研二

＜専門学校金沢美専教職員＞

東ちえこ、高崎千愛、鹿島恵、作本智美

内容：平成30年度の自己点検評価報告書を基に、規準項目ごとに説明と取り組みを聞き、評価を行った。特に意見の上がった項目については以下のとおりである。

#### 4. 教育成果

- 就職率は毎年100%を維持しており、今後も全員就職を目指してほしい。
- 退学者を出さないための取り組みは十分に実施されていると感じる。今後はそこからも漏れてくる学生たちにどう対応していくかが課題になると感じる。
- 卒業生の活躍等の情報をうまく活用して在校生に企業の特徴をアピールしてもらえると採用側としても助かる。

#### 5. 学生支援

- 学生の進路に対しては的確に指導していると感じる。
- 卒業生が就職後に早期離職につながらないために、受け入れ側の業界としても取り組みが必要。そのために学校側からも意見をいただきたい。
- そのためにも卒業生と接触できる機会、例えば同窓会などの開催が望ましい。

## 7. 学生募集と受け入れ

- 募集定員を満たすために、学生からの情報発信を活用する方法をもっと進めていくとよい。
- 卒業生の活躍は募集にも活用していったほうが良い。

平成31年3月21日

## 専門学校金沢美専 学校関係者評価報告書

学校法人国際ビジネス学院金沢  
専門学校金沢美専美容学科  
学校関係者評価委員会

学校法人国際ビジネス学院金沢 専門学校金沢美専美容学科における平成30年度の自己点検評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施いたしましたので、以下の通り報告いたします。

開催日時：平成31年3月20日（水） 17:00～18:00

開催場所：専門学校金沢美専 3階応接室

出席者：＜学校関係者評価委員＞

業界企業：grace 代表 松下 泰之

業界団体：石川県美容組合 理事長 西井 十六勝

＜専門学校金沢美専教職員＞

施設長：東 ちえこ、責任者：作本 智美、教諭：谷 知里

内容：平成30年度の自己点検評価報告書を基に、規準項目ごとに説明と取り組みを聞き、評価を行った。特に意見の上がった項目については以下のとおりである。

### 3. 教育活動

- 美容学科としては国家試験の合格率が教育の成果としても、学校運営の上でも重要なポイントとなる。引き続き高い合格率を維持して欲しい。
- そのための教員の指導力のレベルアップも必要となる。

### 4. 学習成果

- 教育活動ともリンクするが、関連資格については取得したらどうなるかということも含めて取得に向けて興味を持たせることが必要
- 退学者に向けて、今の若い学生については繊細な学生も多くなることが予想されるため、対応力の強化が求められる。
- 卒業生については万が一離職した場合でも業界にとどまり、美容師の免許を活かしてほしいので、定期的に連絡を取り卒業後のフォローを実施してほしい。

## 5. 学生支援

- 全項目ともリンクするが、卒業生の情報を収集し、在校生に紹介するようにするとよい。
- 美容学科の入学希望者の中には、ひとり親家庭の学生も多く、また学びたくとも進学できないというパターンもあるものと思われる。そうした入学希望者にも支援等を通じて進学の道を示していくべき。
- 学生の相談については、社会的に見ても現代人の持つ悩みは複雑になってきているため、それに対応できるようにしていかなければならない。

## 7. 学生募集と受け入れ

- 次年度から新たに開設するワーキングスタディコースについては、学費の問題、通信制の合格率の問題を合わせて改善でき、業界としても悪くないと考える。募集の観点から見ても今まで進学をあきらめていた高校生にとっては有意義なものになると考える。